

◇環境保全推進賞

マルハニチロ株式会社大江工場（大江町）

＝ バイオガス化発電及び熱利用設備導入による CO2 削減 ＝

生産工程で生じた食品残渣などをメタン発酵処理し、発電に利用するバイオガスプラントの稼働を 2021 年に開始しました。発電規模は最大 150 kW、CO2 削減効果は最大約 700 t-CO2/年になります。生産工程で生じた食品残渣などをメタン発酵処理させ、発電に利用可能なバイオガスを発生させることで、再生可能エネルギーとして活用することができます。

廃棄物処理法に定める「二以上の事業者による産業廃棄物の処理に係る特例認定申請（親子認定）」を認可していただいたことで、大江工場だけではなく近隣の白鷹工場（西置賜郡白鷹町）や、グループ会社であるマルハニチロ山形（山形県村山市）からも受け入れが可能となり、山形県内のマルハニチログループ全体での取り組みとして運用しています。現在は、マルハニチロ山形からの受け入れのみとなっていますが、今後は白鷹工場からの受け入れについても準備を進めています。



バイオガスプラント 外観



発酵槽（下部 円筒型）で発生したガスを上部のガスバッグ室にて貯留し、発電機へ供給する。



50kw のバイオガス発電機を 3 台設置



発電によって得られた温水の一部は工場へ供給